

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業振興費

事業名 グローバル産地づくり推進事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農産物流通課 輸出戦略係 電話番号：058-272-1111 (内 2896)

E-mail：c11444@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 20,000 千円 (前年度予算額：15,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	15,000	15,000	0	0	0	0	0	0	0
要求額	20,000	20,000	0	0	0	0	0	0	0
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・農産物の更なる輸出拡大を図るためには、海外から求められる品質、コスト、ロットでの生産や海外の規制等への対応が必要である。
- ・このため、国庫補助事業を活用し、生産・加工体制の構築に向けた県内産地の取り組みを支援する。

(2) 事業内容

- ・グローバル産地計画策定 (1年目必須)
- ・生産・加工等の体制構築
- ・グローバル産地計画の事業効果の検証・改善

※ 当事業は、グローバル産地計画に基づきPDCAサイクルを回して
取り組みを実施していく3年間の継続事業

(3) 県負担・補助率の考え方

国庫補助 (10/10) 定額

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	20,000	事業実施予定：3事業者
合計	20,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略 (2019年3月策定)
3 (1) ④ 「ぎふブランド」づくり (情報発信・販路拡大)
- ・新たなぎふ農業・農村基本計画 (2021年3月策定予定)
(3) ぎふ農畜水産物のブランド展開 ①輸出拡大の強化

(2) 国・他県の状況

令和2年度のグローバル産地づくり推進事業においては、28道府県63事業者が採択されている。

(3) 後年度の財政負担

全額国庫補助のため、財政負担はない。

事業評価調査書（県単独補助金を除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

相手国のニーズや規制等に対応したグローバル産地の形成により、県全体の輸出力の更なる強化を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
飛騨牛の年間輸出量 (kg)	330 (H20)	1,071 (H22)	23,484 (H27)	51,680 (R1)	100,000 (R7)	% 51.9
鮎の年間輸出量 (kg)	15 (H25)	70 (H26)	420 (H27)	1,314 (R1)	10,000 (R7)	% 13.1
富有柿の年間輸出量 (t)	11 (H20)	10 (H22)	47 (H27)	51.9 (R1)	100 (R7)	% 51.9

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

2地区（飛騨ミート農業協同組合連合会、岐阜県農林水産物輸出促進協議会）で事業採択され、生産・加工体制の構築に向けた取組みを行った。

（前年度の成果）

飛騨ミート農業協同組合連合会、岐阜県農林水産物輸出促進協議会で相手国のニーズや規制等に対応したグローバル産地計画を策定し、生産・加工体制の構築に向けた取組みを行った。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い 	
(評価) ○	今後、急速な人口減少社会を迎え、国内市場の縮小が見込まれる中、農林水産業の所得を確保するために、ニーズや規制等に対応したグローバル産地づくりの形成支援は、必要性が高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	飛騨牛、富有柿、鮎の輸出量は、順調に伸びており、県の輸出戦略に沿った事業実施の効果が現れている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある 	
(評価) ○	輸出に知見のある第三者が参画し、産地としての戦略的な計画を策定したうえで取組みを実施するとともに、事業効果の検証・改善を行うため、実施の効率性は図られている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 農産物の輸出拡大に向けては、海外ニーズや規制等に対応した国内での生産対策を進めることが課題となっている。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 海外ニーズや規制等に対応したグローバル産地づくりの形成により、県全体の輸出力の更なる強化を目指す。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	